４．参考（概要図）

政策科学総合研究事業

政　策　科　学　推　進　研　究　に　つ　い　て

◆人口減少の局面への突入
・・・2050年には9515万人まで減少
◆社会保障に関する制度改正の検証
年金（H16年）介護（H17年）医療（H18年）
◆年金、長寿医療制度等の制度改正に関する広報を充実させる必要性

◆「社会保障国民会議」
社会・経済構造の変化に伴い、年金制度、高齢期保障、医療・介護サービス、少子化対策・仕事と生活の調和が重点課題
◆「地方分権推進会議推進会議」
規制緩和に向けた基準の再検討（保育等）

■少子高齢化の進行・人口減少社会の到来等に対応できる「安心な」社会保障制度の確立

「社会・経済構造の変化と社会保障に関する研究」
・人口構造の変化と社会保障の相互関係に関する研究
・児童の健全育成に関する研究
・保育施設の環境に関する研究
等

「世帯・個人の経済・生活状況と社会保障に関する研究」
・社会保障制度における低所得者の取扱に関する研究
・格差と社会保障の在り方に関する研究
・社会保障と住宅施策に関する研究
等

「社会保障制度分野における厚生労働行政施策の効率的な推進等に関する研究」
・厚生労働省施策に関する広報の推進に関する研究
・医療と福祉の産業連関に関する分析研究医療構造改革に関する制度
・医療構造改革推進（特定検診・保健指導の影響分析）関する研究等

◆社会保障分野は幅広く、部局横断的に、社会科学系を中心とする研究課題を設定。
◆行政施策の企画立案及び効率的な実施に資する研究を推進。

政策科学総合研究事業

統　計　情　報　総　合　研　究　に　つ　い　て

統計調査の流れ　　*研　究　概　要*　　*周辺の状況*

情報発信

厚生労働統計情報の情報発信
国内外への**情報発信能力を向上**させ、統計情報の有用性を高める
○ 情報発信のあり方（提供媒体・手法）
○ データの二次利用促進と課題への対応

統計法改正

分析

厚生労働統計の高度分析
厚生労働統計の**高度分析の観点から**新たな手法を開発
○ 大規模時系列データの高度分析
○ 大規模DBを利用した分析手法開発

大規模縦断調査

データ処理

厚生労働統計情報の高度処理システムの開発
医療情報の電子化、電算処理能力の向上等に対応した**高度処理に関する基盤技術**の開発
○ 厚生労働統計のオンライン化
○ 情報の多様化、巨大集積化への対応

IT新改革戦略

調査

厚生労働統計の調査手法及び精度の向上
厚生労働統計の**精度を向上**させ、有用性を高める
○ 国際比較性の向上
○ 精度を向上させる具体的方策

ICD改訂

＊情報技術に精通した**若手のため**育成枠を設けている。